

日本語の作文技術・目次

はじめに

第一章 なぜ作文の「技術」か

第二章 修飾する側とされる側

第三章 修飾の順序

第四章 句読点のうちかた

第五章 漢字とカナの心理

第六章 助詞の使い方

1 象は鼻が長い

—— 題目を表わす係助詞「ハ」

2 蛙は腹にはヘソがない

—— 対照(限定)の係助詞「ハ」

3 来週までに掃除せよ

—— マデとマデニ

4 少し脱線するが……

—— 接続助詞の「ガ」

5 サルとイヌとネコとがけんかした

—— 並列の助詞

第七章 段落

第八章 無神経な文章

1 紋切型

2 繰返し

3 自分が笑ってはいけない
体言止めの下品さ

4 ルポルターージュの過去形

6 サボリ敬語

第九章 リズムと文体

1 文章のリズム

2 文豪たちの場合

第二〇章 書き出しをどうするか

第二章 具体的なことを

第三章 原稿の長さや密度

第三章 取材の方法

付1 メモから原稿まで

付2 日本語と方言の復権のために

コメント (梅棹忠夫氏)

おわりに

装幀・田村義也